

第3期健康横浜21 指標・目標値 一覧表

NO	評価項目	課題・取組テーマ	市民の行動目標・環境づくりの目標	指標	区分	単位	出典	直近値	西暦-直近値	和暦-直近値	目標値(目標)	向き	西暦-目標値	和暦-目標値	目標の方向	目標値の設定方法
1	最終成果	健康寿命	—	健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間の平均	男性	年	厚生労働省研究班「健康寿命算定プログラム」を用いて独自算出	72.60	2019	R01	73.70	以上	2031	R13	増加	健康寿命延伸プランの目標の考え方による
2	最終成果	健康寿命	—	健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間の平均	女性	年	厚生労働省研究班「健康寿命算定プログラム」を用いて独自算出	75.01	2019	R01	76.42	以上	2031	R13	増加	健康寿命延伸プランの目標の考え方による
3	最終成果	健康寿命(補完的指標)	—	平均寿命の増加分を上回る健康寿命の増加	男性	年	厚生労働省研究班「健康寿命算定プログラム」を用いて独自算出	-0.07	2019	R01	0.01	以上	2031	R13	増加	国等と同値
4	最終成果	健康寿命(補完的指標)	—	平均寿命の増加分を上回る健康寿命の増加	女性	年	厚生労働省研究班「健康寿命算定プログラム」を用いて独自算出	-0.13	2019	R01	0.01	以上	2031	R13	増加	国等と同値
5	最終成果	健康寿命(補完的指標)	—	自分が健康であると自覚している期間の平均	男性	年	厚生労働省研究班「健康寿命算定プログラム」を用いて独自算出	73.70	2019	R01	—	—	2031	R13	増加	—
6	最終成果	健康寿命(補完的指標)	—	自分が健康であると自覚している期間の平均	女性	年	厚生労働省研究班「健康寿命算定プログラム」を用いて独自算出	76.03	2019	R01	—	—	2031	R13	増加	—
7	最終成果	健康寿命(補完的指標)	—	日常生活動作が自立している期間の平均(介護保険データによる平均自立期間)	男性	年	厚生労働省研究班「健康寿命算定プログラム」を用いて独自算出	80.25	2021	R03	—	—	2031	R13	増加	—
8	最終成果	健康寿命(補完的指標)	—	日常生活動作が自立している期間の平均(介護保険データによる平均自立期間)	女性	年	厚生労働省研究班「健康寿命算定プログラム」を用いて独自算出	84.16	2021	R03	—	—	2031	R13	増加	—
9	中間成果	①生活習慣病の予防を通じた早世の減少	—	心血管疾患、がん、糖尿病、慢性の呼吸器系疾患に関する若年(30～69歳)年齢調整死亡率	全体	人口10万対	人口動態統計より独自算出	207.4	2021	R03	—	—	2031	R13	減少	—
10	中間成果	①生活習慣病の予防を通じた早世の減少	—	心血管疾患、がん、糖尿病、慢性の呼吸器系疾患に関する若年(30～69歳)年齢調整死亡率	男性	人口10万対	人口動態統計より独自算出	270.4	2021	R03	—	—	2031	R13	減少	—
11	中間成果	①生活習慣病の予防を通じた早世の減少	—	心血管疾患、がん、糖尿病、慢性の呼吸器系疾患に関する若年(30～69歳)年齢調整死亡率	女性	人口10万対	人口動態統計より独自算出	143.4	2021	R03	—	—	2031	R13	減少	—

NO	評価項目	課題・取組テーマ	市民の行動目標・環境づくりの目標	指標	区分	単位	出典	直近値	西暦-直近値	和暦-直近値	目標値(目標)	向き	西暦-目標値	和暦-目標値	目標の方向	目標値の設定方法
12	中間成果	②男性の肥満や脂質異常症の改善	—	男性のメタボリックシンドローム判定の割合	男性	%	横浜市国民健康保険特定健診法定報告	31.4	2021	R03	—		2029	R11	減少	—
13	中間成果	②男性の肥満や脂質異常症の改善	—	男性のBMIの平均値	男性	kg/m ²	NDBオープンデータ	24.3	2020	R02	—		2029	R11	減少	—
14	中間成果	②男性の肥満や脂質異常症の改善	—	男性のLDLコレステロールの平均値	男性	mg/dl	NDBオープンデータ	127.5	2020	R02	—		2029	R11	減少	—
15	中間成果	②男性の肥満や脂質異常症の改善	—	男性のLDLコレステロールの要保健指導判定値(120以上)の人の割合	男性	%	NDBオープンデータ	58.7	2020	R02	—		2029	R11	減少	—
16	中間成果	③女性の乳がんの死亡率の減少	—	女性の乳がんの75歳未満年齢調整死亡率	女性	人口10万対	人口動態統計より独自算出	17.3	2021	R03	—		2031	R13	減少	—
17	中間成果	③女性の乳がんの死亡率の減少	—	女性の乳がんの標準化死亡比	女性	1=全国	人口動態統計より独自算出	1.168	2016 ~ 2020	H28 ~ R02	—		2026 ~ 2030	R08 ~ R12	減少	—
18	中間成果	④糖尿病の重症化の予防	—	HbA1c8.0%以上の人の割合		%	NDBオープンデータ	1.25	2020	R02	—		2029	R11	減少	—
19	中間成果	⑤喫煙・受動喫煙の減少	—	COPD(慢性閉塞性肺疾患)の年齢調整死亡率		人口10万対	人口動態統計より独自算出	10.5	2021	R03	—		2031	R13	減少	—
20	中間成果	⑥歯周炎の予防と改善	—	40歳以上における歯周炎を有する者の割合(年齢調整値)		%	県民歯科保健実態調査(横浜市分)	65.3	2020	R02	—		2032	R14	減少	—
21	中間成果	⑦腰痛の予防と改善	—	腰痛が1か月以上継続している人の割合		%	健康に関する市民意識調査	今後把握			—		2032	R14	減少	—
22	中間成果	⑧骨折・転倒により介護が必要な状態となることの減少	—	骨折・転倒が主な原因で介護保険要支援となった人の割合		%	横浜市高齢者実態調査	19.7	2022	R04	—		2031	R13	減少	—
23	中間成果	⑨高齢期の不慮の事故による死亡率の減少	—	不慮の溺死及び溺水の年齢調整死亡率		人口10万対	人口動態統計より独自算出	12.2	2021	R03	—		2031	R13	減少	—

NO	評価項目	課題・取組テーマ	市民の行動目標・環境づくりの目標	指標	区分	単位	出典	直近値	西暦-直近値	和暦-直近値	目標値(目標)	向き	西暦-目標値	和暦-目標値	目標の方向	目標値の設定方法
24	中間成果	⑨高齢期の不慮の事故による死亡率の減少	—	収縮期血圧が受診勧奨値(140以上)の高齢期等(60~74歳)の人の割合	—	%	NDBオープンデータ	24.6	2020	R02	—		2029	R11	減少	—
25	中間成果	⑩成人期・壮年期のメンタルヘルスの向上	—	心理的苦痛を感じている人の割合(うつ・不安症状を評価する自己記入式質問紙:K6で10点以上)	全体	%	こころの健康に関する市民意識調査	16.9	2022	R04	—		2032	R14	減少	—
26	中間成果	⑩成人期・壮年期のメンタルヘルスの向上	—	心理的苦痛を感じている人の割合(うつ・不安症状を評価する自己記入式質問紙:K6で10点以上)	20~39歳男性	%	こころの健康に関する市民意識調査	28.0	2022	R04	—		2032	R14	減少	—
27	中間成果	⑩成人期・壮年期のメンタルヘルスの向上	—	心理的苦痛を感じている人の割合(うつ・不安症状を評価する自己記入式質問紙:K6で10点以上)	20~39歳女性	%	こころの健康に関する市民意識調査	24.2	2022	R04	—		2032	R14	減少	—
28	中間成果	⑩成人期・壮年期のメンタルヘルスの向上	—	心理的苦痛を感じている人の割合(うつ・不安症状を評価する自己記入式質問紙:K6で10点以上)	40~64歳男性	%	こころの健康に関する市民意識調査	15.0	2022	R04	—		2032	R14	減少	—
29	中間成果	⑩成人期・壮年期のメンタルヘルスの向上	—	心理的苦痛を感じている人の割合(うつ・不安症状を評価する自己記入式質問紙:K6で10点以上)	40~64歳女性	%	こころの健康に関する市民意識調査	17.2	2022	R04	—		2032	R14	減少	—
30	直接成果	栄養・食生活	1日3食、栄養バランスよく食べる	朝食を欠食する小・中学生の割合	—	%	横浜市食育目標に関する調査	8.4	2022	R04	0		2032	R14	減少	国等と同値
31	直接成果	栄養・食生活	1日3食、栄養バランスよく食べる	食に関心をもち、自ら健全な食生活を実践しようとしている児童生徒の割合	小学校	%	横浜市食育目標に関する調査	92.0	2022	R04	90	以上	2025	R07	増加	国等と同値
32	直接成果	栄養・食生活	1日3食、栄養バランスよく食べる	食に関心をもち、自ら健全な食生活を実践しようとしている児童生徒の割合	中学校	%	横浜市食育目標に関する調査	88.9	2022	R04	90	以上	2025	R07	増加	国等と同値
33	直接成果	栄養・食生活	1日3食、栄養バランスよく食べる	朝食を欠食する若い世代(20~30代)の割合	全体	%	健康に関する市民意識調査	27.1	2020	R02	15	以下	2032	R14	減少	国等と同値
34	直接成果	栄養・食生活	1日3食、栄養バランスよく食べる	主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上(ほぼ毎日)食べている市民の割合	全体	%	健康に関する市民意識調査	34.3	2020	R02	50	以上	2032	R14	増加	国等と同値
35	直接成果	栄養・食生活	1日3食、栄養バランスよく食べる	1日当たりの野菜摂取量の平均値	—	g	国民健康・栄養調査(横浜市分)	291	2017~2019	H29~R01	350	以上	2030~2032	R12~R14	増加	国等と同値

NO	評価項目	課題・取組テーマ	市民の行動目標・環境づくりの目標	指標	区分	単位	出典	直近値	西暦-直近値	和暦-直近値	目標値(目標)	向き	西暦-目標値	和暦-目標値	目標の方向	目標値の設定方法
36	直接成果	栄養・食生活	1日3食、栄養バランスよく食べる	1日当たりの食塩摂取量の平均値		g	国民健康・栄養調査(横浜市分)	9.9	2017～2019	H29～R01	7	未満	2030～2032	R12～R14	減少	国等と同値
37	直接成果	栄養・食生活	適正体重を維持する	家庭で体重を測定する習慣のある者(週に1回以上)の割合(20歳以上)	全体	%	健康に関する市民意識調査	52.4	2020	R02	58	以上	2032	R14	増加	a_2年分以上データあり改善傾向
38	直接成果	栄養・食生活	適正体重を維持する	20～60代男性の肥満(BMI25以上)の者の割合		%	健康に関する市民意識調査	今後把握			30	未満	2032	R14	減少	国等と同値
39	直接成果	栄養・食生活	適正体重を維持する	40～60代女性の肥満(BMI25以上)の者の割合		%	健康に関する市民意識調査	今後把握			15	未満	2032	R14	減少	国等と同値
40	直接成果	栄養・食生活	適正体重を維持する	20～30代女性のやせ(BMI18.5未満)の者の割合		%	健康に関する市民意識調査	今後把握			15	未満	2032	R14	減少	国等と同値
41	直接成果	栄養・食生活	適正体重を維持する	低栄養傾向(BMI20以下)の高齢者(65歳以上)の割合		%	国民健康・栄養調査(横浜市分)	24.2	2017～2019	H29～R01	13	未満	2030～2032	R12～R14	減少	国等と同値
42	直接成果	歯・口腔	しっかり噛んで食後は歯みがき	3歳児でむし歯のない者の割合	全体	%	地域保健・健康増進事業報告	94.8	2022	R04	90	以上	2024	R06	増加	国等と同値
43	直接成果	歯・口腔	しっかり噛んで食後は歯みがき	3歳児で4本以上のむし歯のある者の割合	全体	%	地域保健・健康増進事業報告	1	2022	R04	0		2032	R14	減少	国等と同値
44	直接成果	歯・口腔	しっかり噛んで食後は歯みがき	12歳児でむし歯のない者の割合	全体	本	神奈川県・定期歯科健診結果に関する調査	68.7	2021	R03	72.2	以上	2032	R14	増加	a_2年分以上データあり改善傾向
45	直接成果	歯・口腔	しっかり噛んで食後は歯みがき	中学生における歯肉に異常のある者の割合	全体	本	神奈川県・定期歯科健診結果に関する調査	16.4	2021	R03	15.5	以下	2032	R14	減少	a_2年分以上データあり改善傾向
46	直接成果	歯・口腔	「口から食べる」を維持する	20歳以上における未処置歯を有する者の割合(年齢調整値)	全体	%	県民歯科保健実態調査(横浜市分)	23.0	2020	R02	20	以下	2032	R14	減少	a_2年分以上データあり改善傾向
47	直接成果	歯・口腔	「口から食べる」を維持する	40歳以上における自分の歯が19歯以下の者の割合(年齢調整値)	全体	%	県民歯科保健実態調査(横浜市分)	18.4	2020	R02	15	以下	2032	R14	減少	b_2年分以上データあり悪化傾向

NO	評価項目	課題・取組テーマ	市民の行動目標・環境づくりの目標	指標	区分	単位	出典	直近値	西暦-直近値	和暦-直近値	目標値(目標)	向き	西暦-目標値	和暦-目標値	目標の方向	目標値の設定方法
48	直接成果	歯・口腔	「口から食べる」を維持する	20代～60代における「オーラルフレイル」の言葉を知っている者の割合	全体	%	健康に関する市民意識調査	17.5	2020	R02	20	以上	2032	R14	増加	c_1年分のみデータあり
49	直接成果	歯・口腔	「口から食べる」を維持する	50歳以上におけるなんでも噛んで食べることのできる者の割合(年齢調整値)	全体	%	県民歯科保健実態調査(横浜市分)	71.8	2020	R02	80	以上	2032	R14	増加	b_2年分以上データあり 悪化傾向
50	直接成果	歯・口腔	「口から食べる」を維持する	80歳で20本以上の自分の歯を有する者の割合	全体	%	県民歯科保健実態調査(横浜市分)	55.6	2020	R02	60	以上	2032	R14	増加	b_2年分以上データあり 悪化傾向
51	直接成果	喫煙	タバコの害を学ぶ・吸い始めない	20歳未満と同居する者の喫煙率	全体	%	健康に関する市民意識調査	18.6	2020	R02	14	以下	2032	R14	減少	a_2年分以上データあり 改善傾向
52	直接成果	喫煙	タバコの害を学ぶ・吸い始めない	20歳未満と同居する者の喫煙率	男性	%	健康に関する市民意識調査	25.9	2020	R02	19	以下	2032	R14	減少	a_2年分以上データあり 改善傾向
53	直接成果	喫煙	タバコの害を学ぶ・吸い始めない	20歳未満と同居する者の喫煙率	女性	%	健康に関する市民意識調査	10.1	2020	R02	9	以下	2032	R14	減少	a_2年分以上データあり 改善傾向
54	直接成果	喫煙	タバコの害を学ぶ・吸い始めない	20代の喫煙率	全体	%	国民生活基礎調査(横浜市分)	12.7	2022	R04	8	以下	2031	R13	減少	a_2年分以上データあり 改善傾向
55	直接成果	喫煙	タバコの害を学ぶ・吸い始めない	20代の喫煙率	男性	%	国民生活基礎調査(横浜市分)	20.0	2022	R04	14	以下	2031	R13	減少	a_2年分以上データあり 改善傾向
56	直接成果	喫煙	タバコの害を学ぶ・吸い始めない	20代の喫煙率	女性	%	国民生活基礎調査(横浜市分)	6.3	2022	R04	2	以下	2031	R13	減少	a_2年分以上データあり 改善傾向
57	直接成果	喫煙	禁煙にチャレンジ	喫煙者のうちタバコを今すぐやめたい人の割合		%	健康に関する市民意識調査	11.3	2020	R02	11.3	以上	2032	R14	増加	b_2年分以上データあり 悪化傾向
58	直接成果	喫煙	禁煙にチャレンジ	20歳以上の喫煙率	全体	%	国民生活基礎調査(横浜市分)	13.1	2022	R04	12	以下	2031	R13	減少	国等と同値
59	直接成果	喫煙	禁煙にチャレンジ	20歳以上の喫煙率	男性	%	国民生活基礎調査(横浜市分)	19.7	2022	R04	18.5	以下	2031	R13	減少	a_2年分以上データあり 改善傾向

NO	評価項目	課題・取組テーマ	市民の行動目標・環境づくりの目標	指標	区分	単位	出典	直近値	西暦-直近値	和暦-直近値	目標値(目標)	向き	西暦-目標値	和暦-目標値	目標の方向	目標値の設定方法
60	直接成果	喫煙	禁煙にチャレンジ	20歳以上の喫煙率	女性	%	国民生活基礎調査(横浜市区)	6.6	2022	R04	5.5	以下	2031	R13	減少	a_2年分以上データあり改善傾向
61	直接成果	飲酒	飲酒のリスクを学ぶ・飲み始めない	習慣的に飲酒をしていない(週2日以下)20代の割合	全体	%	健康に関する市民意識調査	86.0	2020	R02	92	以上	2032	R14	増加	a_2年分以上データあり改善傾向
62	直接成果	飲酒	飲酒のリスクを学ぶ・飲み始めない	習慣的に飲酒をしていない(週2日以下)20代の割合	男性	%	健康に関する市民意識調査	80.2	2020	R02	83	以上	2032	R14	増加	b_2年分以上データあり悪化傾向
63	直接成果	飲酒	飲酒のリスクを学ぶ・飲み始めない	習慣的に飲酒をしていない(週2日以下)20代の割合	女性	%	健康に関する市民意識調査	89.2	2020	R02	96	以上	2032	R14	増加	a_2年分以上データあり改善傾向
64	直接成果	飲酒	飲酒のリスクを踏まえ「飲み過ぎない」を心がける	飲酒習慣する人のうち、1日当たりの純アルコール摂取量が男性40g以上、女性20g以上の者の割合	男性	%	健康に関する市民意識調査	16.4	2020	R02	12	以下	2032	R14	減少	a_2年分以上データあり改善傾向
65	直接成果	飲酒	飲酒のリスクを踏まえ「飲み過ぎない」を心がける	飲酒習慣する人のうち、1日当たりの純アルコール摂取量が男性40g以上、女性20g以上の者の割合	女性	%	健康に関する市民意識調査	13.5	2020	R02	8	以下	2032	R14	減少	a_2年分以上データあり改善傾向
66	直接成果	飲酒	飲酒のリスクを踏まえ「飲み過ぎない」を心がける	毎日飲酒する者の割合		%	健康に関する市民意識調査	16.2	2020	R02	14	以下	2032	R14	減少	a_2年分以上データあり改善傾向
67	直接成果	運動	体を動かすことを楽しむ	週3回以上、授業以外に運動やスポーツをする子どもの割合	小・中学生	%	横浜市体力運動能力調査	40.9	2022	R04	50	以上	2032	R14	増加	国等と同値
68	直接成果	運動	体を動かすことを楽しむ	運動(体を動かす遊びを含む。)やスポーツをするのが好きな子どもの割合	小学男子	%	スポーツ庁全国体力運動調査	69.9	2022	R04	71	以上	2032	R14	増加	b_2年分以上データあり悪化傾向
69	直接成果	運動	体を動かすことを楽しむ	運動(体を動かす遊びを含む。)やスポーツをするのが好きな子どもの割合	小学女子	%	スポーツ庁全国体力運動調査	54.7	2022	R04	55	以上	2032	R14	増加	b_2年分以上データあり悪化傾向
70	直接成果	運動	体を動かすことを楽しむ	運動(体を動かす遊びを含む。)やスポーツをするのが好きな子どもの割合	中学男子	%	スポーツ庁全国体力運動調査	63.0	2022	R04	65	以上	2032	R14	増加	b_2年分以上データあり悪化傾向
71	直接成果	運動	体を動かすことを楽しむ	運動(体を動かす遊びを含む。)やスポーツをするのが好きな子どもの割合	中学女子	%	スポーツ庁全国体力運動調査	45.4	2022	R04	46	以上	2032	R14	増加	b_2年分以上データあり悪化傾向

NO	評価項目	課題・取組テーマ	市民の行動目標・環境づくりの目標	指標	区分	単位	出典	直近値	西暦-直近値	和暦-直近値	目標値(目標)	向き	西暦-目標値	和暦-目標値	目標の方向	目標値の設定方法
72	直接成果	運動	日常の中で「こまめに」動く	健康のために、意識して体を動かしたり、運動したりしている市民の割合		%	健康に関する市民意識調査	52.9	2020	R02	65	以上	2032	R14	増加	a_2年分以上データあり改善傾向
73	直接成果	運動	日常の中で「こまめに」動く	20～64歳で1日の歩数が8,000歩以上の人の割合	全体	%	国民健康・栄養調査(横浜市分)	46.4	2017～2019	H29～R01	50	以上	2030～2032	R12～R14	増加	b_2年分以上データあり悪化傾向
74	直接成果	運動	日常の中で「こまめに」動く	20～64歳で1日の歩数が8,000歩以上の人の割合	男性	%	国民健康・栄養調査(横浜市分)	49.6	2017～2019	H29～R01	55	以上	2030～2032	R12～R14	増加	b_2年分以上データあり悪化傾向
75	直接成果	運動	日常の中で「こまめに」動く	20～64歳で1日の歩数が8,000歩以上の人の割合	女性	%	国民健康・栄養調査(横浜市分)	44.0	2017～2019	H29～R01	45	以上	2030～2032	R12～R14	増加	b_2年分以上データあり悪化傾向
76	直接成果	運動	日常の中で「こまめに」動く	65歳以上で1日の歩数が6,000歩以上の人の割合	全体	%	国民健康・栄養調査(横浜市分)	39.2	2017～2019	H29～R01	48	以上	2030～2032	R12～R14	増加	b_2年分以上データあり悪化傾向
77	直接成果	運動	日常の中で「こまめに」動く	65歳以上で1日の歩数が6,000歩以上の人の割合	男性	%	国民健康・栄養調査(横浜市分)	44.2	2017～2019	H29～R01	50	以上	2030～2032	R12～R14	増加	b_2年分以上データあり悪化傾向
78	直接成果	運動	日常の中で「こまめに」動く	65歳以上で1日の歩数が6,000歩以上の人の割合	女性	%	国民健康・栄養調査(横浜市分)	34.7	2017～2019	H29～R01	46	以上	2030～2032	R12～R14	増加	b_2年分以上データあり悪化傾向
79	直接成果	運動	日常の中で「こまめに」動く	座ったり寝転がったりして過ごす時間が長い人の割合	全体	%	健康に関する市民意識調査	今後把握			今後検討		2032	R14	減少	e_データがない
80	直接成果	運動	定期的に「しっかり」運動する	20～64歳で、1回30分・週に2回以上の運動(同等のものを含む。)を1年間継続している者の割合	全体	%	健康に関する市民意識調査	26.9	2020	R02	30	以上	2032	R14	増加	a_2年分以上データあり改善傾向
81	直接成果	運動	定期的に「しっかり」運動する	20～64歳で、1回30分・週に2回以上の運動(同等のものを含む。)を1年間継続している者の割合	男性	%	健康に関する市民意識調査	30.4	2020	R02	35	以上	2032	R14	増加	a_2年分以上データあり改善傾向
82	直接成果	運動	定期的に「しっかり」運動する	20～64歳で、1回30分・週に2回以上の運動(同等のものを含む。)を1年間継続している者の割合	女性	%	健康に関する市民意識調査	22.7	2020	R02	25	以上	2032	R14	増加	a_2年分以上データあり改善傾向
83	直接成果	運動	定期的に「しっかり」運動する	65歳以上で、1回30分・週に2回以上の運動(同等のものを含む。)を1年間継続している者の割合	全体	%	健康に関する市民意識調査	44.1	2020	R02	50	以上	2032	R14	増加	b_2年分以上データあり悪化傾向

NO	評価項目	課題・取組テーマ	市民の行動目標・環境づくりの目標	指標	区分	単位	出典	直近値	西暦-直近値	和暦-直近値	目標値(目標)	向き	西暦-目標値	和暦-目標値	目標の方向	目標値の設定方法
84	直接成果	運動	定期的に「しっかり」運動する	65歳以上で、1回30分・週に2回以上の運動(同等のものを含む。)を1年間継続している者の割合	男性	%	健康に関する市民意識調査	41.2	2020	R02	50	以上	2032	R14	増加	b_2年分以上データあり 悪化傾向
85	直接成果	運動	定期的に「しっかり」運動する	65歳以上で、1回30分・週に2回以上の運動(同等のものを含む。)を1年間継続している者の割合	女性	%	健康に関する市民意識調査	46.9	2020	R02	50	以上	2032	R14	増加	b_2年分以上データあり 悪化傾向
86	直接成果	休養・こころ	早寝・早起き、ぐっすり睡眠	1日の睡眠時間が6時間未満の小学生の割合	小学5年生男子	%	横浜市立小中学校児童生徒の体力・運動能力調査	6.9	2022	R04	5	以下	2032	R14	減少	b_2年分以上データあり 悪化傾向
87	直接成果	休養・こころ	早寝・早起き、ぐっすり睡眠	1日の睡眠時間が6時間未満の小学生の割合	小学5年生女子	%	横浜市立小中学校児童生徒の体力・運動能力調査	5.5	2022	R04	5	以下	2032	R14	減少	b_2年分以上データあり 悪化傾向
88	直接成果	休養・こころ	早寝・早起き、ぐっすり睡眠	ぐっすり眠ることができる日が週6日以上の子どもの割合	小学5年生男子	%	横浜市立小中学校児童生徒の体力・運動能力調査	58.9	2022	R04	65	以上	2032	R14	増加	a_2年分以上データあり 改善傾向
89	直接成果	休養・こころ	早寝・早起き、ぐっすり睡眠	ぐっすり眠ることができる日が週6日以上の子どもの割合	小学5年生女子	%	横浜市立小中学校児童生徒の体力・運動能力調査	59.1	2022	R04	65	以上	2032	R14	増加	a_2年分以上データあり 改善傾向
90	直接成果	休養・こころ	睡眠の質を高める・ストレスに気付き、対処する	睡眠で休養が取れている人の割合	20～59歳男性	%	健康に関する市民意識調査	70.3	2020	R02	75	以上	2032	R14	増加	国等と同値
91	直接成果	休養・こころ	睡眠の質を高める・ストレスに気付き、対処する	睡眠で休養が取れている人の割合	20～59歳女性	%	健康に関する市民意識調査	70.2	2020	R02	75	以上	2032	R14	増加	国等と同値
92	直接成果	休養・こころ	睡眠の質を高める・ストレスに気付き、対処する	睡眠で休養が取れている人の割合	60代全体	%	健康に関する市民意識調査	81.2	2020	R02	90	以上	2032	R14	増加	国等と同値
93	直接成果	休養・こころ	睡眠の質を高める・ストレスに気付き、対処する	睡眠時間が6～9時間の人の割合	20～59歳男性	%	健康に関する市民意識調査	今後把握			60	以上	2032	R14	増加	国等と同値
94	直接成果	休養・こころ	睡眠の質を高める・ストレスに気付き、対処する	睡眠時間が6～9時間の人の割合	20～59歳女性	%	健康に関する市民意識調査	今後把握			60	以上	2032	R14	増加	国等と同値
95	直接成果	休養・こころ	睡眠の質を高める・ストレスに気付き、対処する	睡眠時間が6～8時間の人の割合	60代全体	%	健康に関する市民意識調査	今後把握			60	以上	2032	R14	増加	国等と同値

NO	評価項目	課題・取組テーマ	市民の行動目標・環境づくりの目標	指標	区分	単位	出典	直近値	西暦-直近値	和暦-直近値	目標値(目標)	向き	西暦-目標値	和暦-目標値	目標の方向	目標値の設定方法
96	直接成果	休養・こころ	睡眠の質を高める・ストレスに気づき、対処する	悩みやストレスがあるが相談できないでいる人の割合	15～64歳	%	国民生活基礎調査(横浜市区)	6.5	2022	R04	4.5	以下	2031	R13	減少	b_2年分以上データあり 悪化傾向
97	直接成果	休養・こころ	睡眠の質を高める・ストレスに気づき、対処する	横浜健康経営認証事業所のうちメンタルヘルス対策に取り組んでいる事業所の割合		%	横浜健康経営認証申請時アンケート	今後把握			今後検討		2032	R14	増加	e_データがない
98	直接成果	休養・こころ	つながりを大切に	周囲の人々とは、お互い困った時には助け合えると思う人の割合		%	健康に関する市民意識調査	今後把握			今後検討		2032	R14	増加	e_データがない
99	直接成果	休養・こころ	つながりを大切に	地域の人々と関わりを持つと思う人の割合		%	健康に関する市民意識調査	49.1	2020	R02	55.5	以上	2032	R14	増加	b_2年分以上データあり 悪化傾向
100	直接成果	休養・こころ	つながりを大切に	地域の人々とのつながりが強いと思う人の割合		%	健康に関する市民意識調査	今後把握			45	以上	2032	R14	増加	国等と同値
101	直接成果	暮らしの備え	自然災害等の「もしも」の健康リスクに備える	健康を維持するための災害時の備えをしている人の割合		%	健康に関する市民意識調査	20.0	2020	R02	30	以上	2032	R14	増加	c_1年分のみデータあり
102	直接成果	暮らしの備え	自然災害等の「もしも」の健康リスクに備える	健康を維持するための災害時の備えをしている人の割合		%	健康に関する市民意識調査	5.2	2020	R02	10	以上	2032	R14	増加	c_1年分のみデータあり
103	直接成果	暮らしの備え	自然災害等の「もしも」の健康リスクに備える	健康を維持するための災害時の備えをしている人の割合		%	健康に関する市民意識調査	19.6	2020	R02	30	以上	2032	R14	増加	c_1年分のみデータあり
104	直接成果	暮らしの備え	自然災害等の「もしも」の健康リスクに備える	健康を維持するための災害時の備えをしている人の割合		%	健康に関する市民意識調査	今後把握			今後検討		2032	R14	増加	e_データがない
105	直接成果	暮らしの備え	自然災害等の「もしも」の健康リスクに備える	いつでもどこでも実施できる体操やストレッチ等の実施を習慣にしている人の割合		%	健康に関する市民意識調査	今後把握			今後検討		2032	R14	増加	e_データがない
106	直接成果	暮らしの備え	屋内で生じる「まさか」の事故を防ぐ	ヒートショックの予防方法を知っている人の割合		%	健康に関する市民意識調査	今後把握			今後検討		2032	R14	増加	e_データがない
107	直接成果	暮らしの備え	屋内で生じる「まさか」の事故を防ぐ	自宅で血圧を毎日測定する習慣のある人の割合	60代全体	%	健康に関する市民意識調査	20.5	2020	R02	29.5	以上	2032	R14	増加	c_1年分のみデータあり

NO	評価項目	課題・取組テーマ	市民の行動目標・環境づくりの目標	指標	区分	単位	出典	直近値	西暦-直近値	和暦-直近値	目標値(目標)	向き	西暦-目標値	和暦-目標値	目標の方向	目標値の設定方法
108	直接成果	暮らしの備え	屋内で生じる「まさか」の事故を防ぐ	過去1年間に転倒したことがある高齢者の割合		%	横浜市高齢者実態調査	21.7	2022	R04	18.5	以下	2031	R13	減少	b_2年分以上データあり 悪化傾向
109	直接成果	暮らしの備え	屋内で生じる「まさか」の事故を防ぐ	横浜健康経営認証事業所のうち腰痛予防に取り組んでいる事業所の割合		%	横浜健康経営認証申請時アンケート	今後把握			今後検討		2032	R14	増加	e_データがない
110	直接成果	健康診査	1年に1回、健診を受ける	特定健診受診率(40歳以上の横浜市国民健康保険加入者)	全体	%	横浜市国民健康保険特定健診法定報告	26.0	2022	R04	40.5	以上	2029	R11	増加	国等と同値
111	直接成果	健康診査	1年に1回、健診を受ける	75歳の市健康診査受診率		%	独自算出	13.7	2021	R03	24.1	以上	2032	R14	増加	c_1年分のみデータあり
112	直接成果	がん検診	定期的ながん検診を受ける	胃がん検診受診率(50~69歳の過去2年間)	全体	%	国民生活基礎調査(横浜市区分)	50.2	2022	R04	60	以上	2028	R10	増加	国等と同値
113	直接成果	がん検診	定期的ながん検診を受ける	胃がん検診受診率(50~69歳の過去2年間)	男性	%	国民生活基礎調査(横浜市区分)	57.1	2022	R04	60	以上	2028	R10	増加	国等と同値
114	直接成果	がん検診	定期的ながん検診を受ける	胃がん検診受診率(50~69歳の過去2年間)	女性	%	国民生活基礎調査(横浜市区分)	43.6	2022	R04	60	以上	2028	R10	増加	国等と同値
115	直接成果	がん検診	定期的ながん検診を受ける	肺がん検診受診率(40~69歳の過去1年間)	全体	%	国民生活基礎調査(横浜市区分)	49.2	2022	R04	60	以上	2028	R10	増加	国等と同値
116	直接成果	がん検診	定期的ながん検診を受ける	肺がん検診受診率(40~69歳の過去1年間)	男性	%	国民生活基礎調査(横浜市区分)	54.8	2022	R04	60	以上	2028	R10	増加	国等と同値
117	直接成果	がん検診	定期的ながん検診を受ける	肺がん検診受診率(40~69歳の過去1年間)	女性	%	国民生活基礎調査(横浜市区分)	43.9	2022	R04	60	以上	2028	R10	増加	国等と同値
118	直接成果	がん検診	定期的ながん検診を受ける	大腸がん検診受診率(40~69歳の過去1年間)	全体	%	国民生活基礎調査(横浜市区分)	48.6	2022	R04	60	以上	2028	R10	増加	国等と同値
119	直接成果	がん検診	定期的ながん検診を受ける	大腸がん検診受診率(40~69歳の過去1年間)	男性	%	国民生活基礎調査(横浜市区分)	52.0	2022	R04	60	以上	2028	R10	増加	国等と同値

NO	評価項目	課題・取組テーマ	市民の行動目標・環境づくりの目標	指標	区分	単位	出典	直近値	西暦-直近値	和暦-直近値	目標値(目標)	向き	西暦-目標値	和暦-目標値	目標の方向	目標値の設定方法
120	直接成果	がん検診	定期的ながん検診を受ける	大腸がん検診受診率(40～69歳の過去1年間)	女性	%	国民生活基礎調査(横浜市分)	45.6	2022	R04	60	以上	2028	R10	増加	国等と同値
121	直接成果	がん検診	定期的ながん検診を受ける	乳がん検診受診率(40～69歳の過去2年間)	女性	%	国民生活基礎調査(横浜市分)	50.5	2022	R04	60	以上	2028	R10	増加	国等と同値
122	直接成果	がん検診	定期的ながん検診を受ける	子宮頸がん検診受診率(20～69歳の過去2年間)	女性	%	国民生活基礎調査(横浜市分)	43.6	2022	R04	60	以上	2028	R10	増加	国等と同値
123	直接成果	歯科健診	定期的に歯のチェック	妊婦歯科健康診査受診率	女性	%	地域保健・健康増進事業報告	43.6	2022	R04	40	以上	2024	R06	増加	国等と同値
124	直接成果	歯科健診	定期的に歯のチェック	20代～60代における過去1年間に歯科健診を受けた者の割合	全体	%	健康に関する市民意識調査	48.2	2020	R02	55	以上	2032	R14	増加	b_2年分以上データあり 悪化傾向
125	直接成果	糖尿病等の疾患	検査結果に応じた生活習慣の改善・早期受診・治療継続	HbA1cの名称とその意味を知っている人の割合		%	健康に関する市民意識調査	今後把握			今後検討		2032	R14	増加	e_データがない
126	直接成果	糖尿病等の疾患	検査結果に応じた生活習慣の改善・早期受診・治療継続	糖尿病と診断された人の治療継続者の割合		%	健康に関する市民意識調査	67.4	2020	R02	75	以上	2032	R14	増加	国等と同値
127	直接成果	食環境づくり	健康への関心の有無にかかわらず、誰もが栄養バランスのよい食事を選択できる食環境を、食品関連事業者等と連携し整える	栄養バランスのよい食事を選択できる環境づくりに資する取組を行っている店舗数			今後、把握する枠組みの整備	今後把握			今後検討				増加	e_データがない
128	直接成果	給食施設の栄養管理	給食施設がその利用者を対象に、食事の提供を通して、健康の保持増進・疾病の予防、望ましい食習慣の形成を行うことができる環境を整える	給食利用者による給食内容の評価の実施の割合		%	栄養管理報告書	66.5	2022	R04	68	以上	2032	R14	増加	b_2年分以上データあり 悪化傾向

NO	評価項目	課題・取組テーマ	市民の行動目標・環境づくりの目標	指標	区分	単位	出典	直近値	西暦-直近値	和暦-直近値	目標値(目標)	向き	西暦-目標値	和暦-目標値	目標の方向	目標値の設定方法
129	直接成果	給食施設の栄養管理	給食施設がその利用者を対象に、食事の提供を通して、健康の保持増進、疾病の予防、望ましい食習慣の形成を行うことができる環境を整える	非常食糧を備蓄している給食施設の割合		%	栄養管理報告書	93.1	2022	R04	98.8	以上	2032	R14	増加	a_2年分以上データあり改善傾向
130	直接成果	受動喫煙防止対策	あらゆる場において市民が受動喫煙する機会を減らす	非喫煙者のうち日常生活の中で受動喫煙の機会を有する者の割合	路上	%	健康に関する市民意識調査	26.6	2020	R02	24.3	以下	2032	R14	減少	c_1年分のみデータあり
131	直接成果	受動喫煙防止対策	あらゆる場において市民が受動喫煙する機会を減らす	非喫煙者のうち日常生活の中で受動喫煙の機会を有する者の割合	職場内	%	健康に関する市民意識調査	8.7	2020	R02	7.3	以下	2032	R14	減少	c_1年分のみデータあり
132	直接成果	受動喫煙防止対策	あらゆる場において市民が受動喫煙する機会を減らす	非喫煙者のうち日常生活の中で受動喫煙の機会を有する者の割合	飲食店	%	健康に関する市民意識調査	8.6	2020	R02	7.2	以下	2032	R14	減少	c_1年分のみデータあり
133	直接成果	受動喫煙防止対策	あらゆる場において市民が受動喫煙する機会を減らす	非喫煙者のうち日常生活の中で受動喫煙の機会を有する者の割合	公園	%	健康に関する市民意識調査	5.2	2020	R02	3.9	以下	2032	R14	減少	c_1年分のみデータあり
134	直接成果	受動喫煙防止対策	あらゆる場において市民が受動喫煙する機会を減らす	非喫煙者のうち日常生活の中で受動喫煙の機会を有する者の割合	家庭内	%	健康に関する市民意識調査	8.5	2020	R02	7.1	以下	2032	R14	減少	c_1年分のみデータあり
135	直接成果	職場における健康づくり	健康経営に取り組む事業所を増やす	横浜健康経営認証新規認証事業所数(累計)		事業所	横浜健康経営認証	1,104	2022	R04	1,854	以上	2032	R14	増加	a_2年分以上データあり改善傾向
136	直接成果	職場における健康づくり	健康経営の取組により従業員の健康状態が改善したと感じる事業所を増やす	健康状態の改善を感じている横浜健康経営認証クラスAA、クラスAAA認証事業所の割合		%	横浜健康経営認証申請時アンケート	43.9	2022	R04	48	以上	2032	R14	増加	c_1年分のみデータあり